

子育て支援、 貧困家庭に行き届いているか

当面現状のままお願いしたい

質問 家庭の貧困による子供への影響を調査しているか。保育料・給食費などの滞納、高校授業料の滞納による高校中退の現状は。

答弁 調査は実施していません。保育料を滞納している世帯もごく少数ありますが、家庭の貧困の理由ではないと判断される例もあります。

給食費などの滞納はほとんどありませんが、今後の推移を見たいと思います。地元高校には、授業料の滞納による高校中退の事例はありません。

質問 「貧困」家庭への町の支援策の現状と対策は。

答弁 小中学生では、就学援助費の支給要綱により、経済的な事情により就学が困難な生徒を支援する制度があります。

高校生については、奨学金条例により奨学金を支給する制度があります。

保育料は、前年度の所得により算定されますが、特別なケースについては個別に対応したいと考えます。

貧困世帯の調査は、前年所得を基準にする調査



名取武一 議員



産業課内に設けられた無料職業紹介所窓口

になるので、現在の状態を把握することは難しいです。今後、貧困についての必要な施策を研究し、政策の検討をしてきたいと思っています。

○その他の質問事項
・町内の雇用問題について

町独自の雇用創出の施策は

保育園に「おじいちゃん先生」 2名・看護師1名を配置する

質問 国からの雇用創出の予算提示に町の対応と独自の対策は。

答弁 町の雇用関係の施策は「ふるさと雇用再生特別基金事業」と「緊急創出雇用事業」の二種類があり、町への配分予定額は、3年間で3,600万円を見込んでおります。

事業内容は、入笠山観光資源整備や有害鳥獣電気柵管理、創造の森公園の間伐などによる整備、河川の支障木の伐採などの河川整備、遺跡発掘を実施する予定もあり、これらの事業で30名の雇用確保を考えています。また、国の支援事業を検討する際に出された事業の中から町独自で計画したものは、保育園に2名の男性用務員「おじいちゃん先生」と看護師1名の配置をします。

質問 介護福祉士二級講座を町が開講できないか。

答弁 福祉現場の慢性的人材不足は町内の施設でも同様です。1月末に関係者と話し合いを持ちましたが、どここの施設も人材不足が共通の課題です。

町と事業者も含めてお互いに協力できることはやっていきたいと思っています。

介護ヘルパーの養成講座を開講することを社協とも相談中ですので今後つめをしていきます。

○その他の質問事項
・平成21年度予算編成について



小池久長 議員